

知ってほしい、議会のこと

草津市

議会だより

令和8年6月定例会号

令和8年8月1日
発行

No. 200

草津メロンどら焼き

草津メロンを使った自家製餡を
たっぷり挟んだどら焼き。

▼購入はこちら

- 松利老舗
〒525-0034
草津市草津3丁目10-40
 - 営業時間
午前9時～午後7時
(日曜日を除く)
 - TEL: 077-562-0371
- ※道の駅くさつでも販売中



草津メロンパン

草津PA名物。
毎日焼き上げられる
大人気メロンパンに、
草津メロン味が新登場。

▼購入はこちら

- 名神高速道路
草津パーキングエリア(下り)
- 提供時間
平日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前8時～午後8時

ぎゅっと凝縮、草津メロン!!

全国屈指の糖度を誇る草津ブランド認証商品の『草津メロン®』を活用し、
湖南農業高等学校と民間事業者が協力して、『草津メロンシーズニング※』を開発しました。
このシーズニングを使い、民間事業者が「持って帰れる美味しい草津」へと新たな魅力を生み出しています。

※草津メロンの風味を生かしたフリーズドライのメロンパウダー



草津メロンミルクバウム

草津メロンと滋賀県産の牛乳で作ら
れたふわふわしっとり食感のバウム
クーヘン。

▼購入はこちら

- 名神高速道路
草津パーキングエリア(上り)(下り)
 - 24時間営業
- ※近鉄百貨店・イオンモール草津等でも
販売中

- 審議された主な議案 P2～4
- 議決結果、9月定例会の開催予定 P4～5
- 19人が市政を問う一般質問 P6～10
- 草津市政治倫理審査会の審査等結果報告の概要 P10
- 知ってほしい、委員会の活動 P11～12

●発行: 草津市議会

●編集: 草津市議会広報広聴委員会

総務常任委員会

草津合同ビル他
解体工事の契約議決に
ついて

旧草津合同ビルおよび旧草津市立第六保育所は昭和53年に竣工してから40年以上が経過しており、老朽化が著しく進行している。移転や閉園に伴い、現在は機能を有しておらず、令和8年度から令和9年度にかけて解体工事を行う。

●審査における質疑応答／意見

議員 周辺道路で混雑や渋滞が見受けられるが、交通への影響や状況に配慮した考えがあるのか伺う。

市 工事の時間帯は午前8時30分から午後5時としており、契約締結後に事業者と打ち合わせを行い、安全管理に十分配慮して実施していく。

議員 地域の方への説明は既に終えているのか、これからなのか伺う。

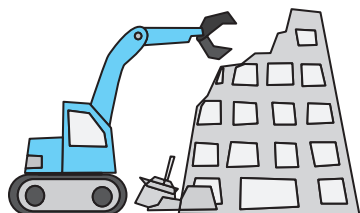
市 6月20日に大路区の各町内会長へ説明しており、今後は大路区まちづくり協議会と協議の上、近隣住民への説明会を実施する予定。

議員 説明会で住民の方からどのような質問があったか伺う。

市 通学路との重複について心配をされていた。工事車両のルートは、北側（栗東方面）の通学路と重複しないルートであり、安全管理を配慮する旨回答した。

議員 産業廃棄物等の地下埋設物に対する懸念について伺う。

市 過去の土地利用を調査したところ、県のろうわ学校が建設されており、木造建築のため、深い基礎はなかったとみて、今回の基礎撤去の作業範囲に地下埋設物はないと考えている。



【議第46号】 契約の締結につき議決を求めることについて

6月定例会について

令和8年6月8日から6月29日まで6月定例会を開き、議案13件が市長から提出されました。なお、議員からは、意見書案3件、決議案1件を提出しました。

今号では、6月定例会中の6月22日から25日までの各常任委員会に付託された予算案や条例案などを慎重に審査した中から、いくつかの質疑等を要約してお伝えします。



予算常任委員会

産業建設常任委員会

【議第41号】 令和8年度草津市一般会計補正予算（第2号）

総合体育館空調設備整備費

熱中症対策や広域避難所の防災機能強化の必要性が高まっていることから空調設備の導入手法を検討していた中、市内企業から「企業版ふるさと納税制度」を活用した寄附の申し出があり、より経済的な導入が可能となり、令和9年度の夏の供用開始に向けて整備を行うもの。

●審査における質疑応答／意見

議員 エアコンの耐用年数は10数年と言われているがその後の対応はどう考えるのか。

市 総合体育館そのものの目標耐用年数が60年であり、エアコンの供用開始の14年後に体育館が耐用年数を迎えることから、その時点でその後の体育館の在り方も含めて検討が必要となる。

議員 指定管理者への収入補填として84万9千円が計上されているが、工事中の市民利用の制限はどのようになるのか。

市 補填の積算は、週2回程度の利用制限を行う想定だが、なるべく市民利用への影響が少ないように進めていきたい。

議員 供用後は使用料金の変更を考えているのか。

市 条例上の施設本体の使用料金については、変更を考えていないが、空調設備の使用料金については、オプションとして別途設定することを考えている。

議員 災害発生時において電気は3日から1週間程度止まると言われているが、電気方式の空調では、その時の対応はどう考えるのか。

市 「広域避難所の防災機能の強化」の視点を考慮し、設計の中で発災時の対応について検討したい。

議員 先に開催された国スポ・障スポの室内温度の検証では、何度くらいだったのか、また、今回の整備でどのように変化するのか。

市 最高気温30度の中で、室内温度は27度までに収まった。今回の仕様では、真夏の8月でも室内温度28度以内に収まるような基準で設定しているが、その時々気温上昇などがあれば運用により調整を図りたい。また、先程の答弁の補足であるが、有事の際に松原中学校がガス式となっているのでもし何か起こっても、松原中学校を優先したいと思っている。

【議第45号】 草津市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案

烏丸半島中央部の適正な土地利用に向け、地区計画の制限に法的実効性を担保

本条例は、地区計画制度の実効性確保を目的に制定されたものである。令和8年3月の烏丸半島中央部地区計画の決定に伴い、同地区内の制限を設けるため改正する。改正は、3か所で、法令の略称追記のほか、新たに同地区を適用区域に加え、建築物の用途、容積率、建ぺい率、高さ等の制限項目を設ける。

●審査における質疑応答／意見

議員 今回、建築される人工サーフィン施設を想定した条例改正なのか。また、万一、途中で、事業者が撤退した場合にも、この改正後の条例は適用されるのか。

市 基本的には、人工サーフィン施設が建設される前提での地区計画である。それ以外の開発提案については、建築条例にも適合しないため、他の施設が建築されることはない。

議員 計画の実効性の確保と、条例化の方向性が示されているが、条例での意義を問う。

市 地区計画制度は地域の特性に応じた、地区レベルできめ細やかな規制・誘導が可能であるが、建築基準法上の適合義務が生じない。そのため、条例化することで、建築確認における適合義務を課すことが可能となり、計画の実効性を確実に担保できる。

議員 条例を制定しなければ、規制がかけられないということか。

市 最高勧告まではできるが、法的規制がかけられない。



令和8年 6月定例会

議員別の表決結果は
HPで見られます。

草津市たび丸

議決結果一覧表

【6月定例会】

議案番号	件 名	付託先	結果
議第39号	専決処分の承認を求めることについて 《税条例の一部改正》	即決	承認
議第40号	専決処分の承認を求めることについて 《国民健康保険税条例の一部改正》	即決	承認
議第41号	令和8年度草津市一般会計補正予算 (第2号)	予算	原案可決
議第42号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案	総務	原案可決
議第43号	草津市立地域まちづくりセンター条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第44号	草津市税条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第45号	草津市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決
議第46号	契約の締結につき議決を求めることについて	総務	原案可決
議第47号	令和8年度草津市一般会計補正予算 (第3号)	予算	原案可決
議第48号	草津町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第49号	山田町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第50号	草津市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第51号	草津市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即決	同意
意見書第5号	滋賀県における地域公共交通を目的とした新たな税導入に慎重な対応を求める意見書	即決	原案可決
意見書第6号	防衛装備移転三原則の運用指針の見直しに関する意見書（案）	即決	否決
意見書第7号	殺傷武器輸出の全面解禁に反対し、閣議決定の撤回を求める意見書（案）	即決	否決
決議第1号	北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議	即決	原案可決

〔付託先〕 議案の審査を行う所管委員会。なお、付託しない場合は、本会議で即決。

《 》は件名に対する補足説明を表します。

予算常任委員会

全国都市緑化フェア
基本構想策定費

「ガーデンシティくさつ」に取り組む市と、「THEシガパーク」をめざし、公園の魅力向上に取り組む県が、市と県の魅力を発信する機会として「2030年全国都市緑化フェア」の誘致に向けて、その趣旨・時期・会場・事業内容などを定める「基本構想」策定費1,369万3千円の補正予算。

●審査における質疑応答／意見

議員 緑化フェアの会場（案）は、草津川跡地公園de愛ひろば、水生植物公園みずの森、ロクハ公園等となっているが、ai彩ひろばも会場として検討されるのか。また、草津川跡地の未整備の区間3、4の整備は検討されるのか。

市 メイン会場、サブ会場ともに県と検討中。市としてはde愛ひろば、ai彩ひろばを含め検討する。メイン会場は草津市の都市公園で調整を行いたい。緑化フェアに際して区間3、4の整備については考えていない。

議員 県と市の共同開催の合意の内容や負担する費用を問う。フェア開催費はどのような想定なのかを問う。

市 今年度の4月2日に知事と市長とで共同開催で準備を進める合意がされ、5月26日に緑化フェアを所管する国土交通省に開催を申し入れた。負担する費用は市域内の会場については、2分の1負担を基本に進めている。事業費はこれまでの開催地によってばらつきがあるので、今後検討する。

議員 開催目的は理解するが、高額な費用がかかる。その効果について問う。

市 ガーデンシティの推進、健幸創造都市くさつの実現の推進などとともに、県と協力して単なる一過性の事業ではなく、持続可能なまちづくりに寄与するものとして進めていく。



【議第47号】 令和8年度草津市一般会計補正予算（第3号）

全会一致で可決しました

決議第1号

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議^①

北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる最重要課題であり、その解決のためには、一層の世論喚起が不可欠である。

特に、若い世代に、拉致問題は過去の出来事ではなく現在進行形の人権侵害かつ犯罪行為であることへの理解促進を図ることが重要である。

拉致問題担当大臣と文部科学大臣は、令和5年4月に「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品の活用促進等について（依頼）」を発出し、学校等においてこれまで以上に拉致問題に関する映像作品等を活用するよう依頼している。

これらのことから草津市議会は、北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発活動を一層充実させるとともに、教育現場や地域社会における理解促進の取組を積極的に推進するよう強く求める。

以上のとおり決議する。

令和8年6月29日

滋賀県草津市議会 議長 遠藤 寛

①決議

議会が行う意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のこと。意見書と同じように議員が発案して本会議にはかる。意見書と違い法的な根拠はない。

議会を傍聴しませんか

令和8年9月定例会(予定)



傍聴方法

- 本会議の受付 市役所4階 議場傍聴席
 - ①傍聴者名簿に記入
 - ②傍聴資料を受け取り入場
- 各委員会の受付 市役所3階 議会事務局受付
 - ①委員会傍聴受付簿に記入
 - ②各委員会室前にて傍聴資料を受け取り入場

インターネット中継視聴方法

- 本会議の様子はこれから視聴できます。



会議録検索方法

- 会議録はこれから検索・閲覧できます。



日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1 10:00～ 本会議開会	2	3	4	5
6	7	8	9	10 10:00～ 一般質問	11 10:00～ 一般質問	12
13	14 10:00～ 一般質問	15 9:30～ 総務 常任委員会	16 9:30～ 文教厚生 常任委員会	17 9:30～ 産業建設 常任委員会	18 9:30～ 予算 常任委員会	19
20	21	22	23	24 9:30～ 決算 特別委員会	25 9:30～ 決算 特別委員会	26
27	28 9:30～ 決算 特別委員会	29 9:30～ 決算 特別委員会	30	10/1 10:00～ 本会議閉会	2	3

日程は、都合により変更になる場合があります。日程の変更は、ホームページでお知らせします。

西田 剛 草政会



自転車交通ルール改正の現状と課題

議員 法改正に伴い、本市の条例運用方針においてどのような変更や強化が行われたか、また施行後に、市民から寄せられている意見や現場における混乱の有無について市の見解を問う。

市 法改正に伴い、条例運用方針として自転車安全指導員の街頭指導を強化し、安全利用教室の回数を増やし、リーフレット配布や相談会で啓発を推進している。また、市民からはルールについて確認したいとの意見が多く、個別に丁寧に対応している。警察に確認したところ現時点では特に混乱はなく、市も引き続き啓発活動に取り組んでいく。

ゴミ収集車火災事故における安全確保と公的支援の在り方

議員 火災による損害を民間業者のみに負わせ続けることは、公共インフラを担うパートナーシップの在り方として、また安全配慮義務の観点から、市として適切であると考えているか、市の見解を問う。

市 ごみ収集業務を担う委託業者は、本市にとって重要なパートナーであり、安全かつ安心して業務を遂行できる環境を整備することは、重要な市の責務であると認識している。事故損害は業者の保険で対応しつつも、事業者のみに費用を負わせるのは不適切と考えることから、業務委託料に保険費用等を計上し、契約をしている。

横江 政則 輝勢会



今後の指定管理制度の在り方

議員 指定管理制度については、適正にモニタリングと評価に努めていただきたいと思うが、今後の制度の在り方について伺う。

市 経済性や効率性のみならず、市民サービスの向上など、指定管理者制度の導入によるメリットを踏まえつつ、管理実態に合わせたより良い管理運営の実現や、民間事業者等のノウハウを生かした施設機能のさらなる向上が図られるよう、適正なモニタリングや評価を行うことで、サービスの質および安定性の確保に努める。

技術継承の状況

議員 施設管理者として、現状を把握する必要があり、技術の継承が必要であると考えているが、技術継承について、現在の状況および今後の考えを問う。

市 技術継承の現状については、運転管理業者を指導・監督する立場として、クリーンセンターに機械、電気、化学の専門的な知識を有する職員を配置しており、日常的な運転管理状況の確認、運転管理業者との定期的なモニタリング会議などを通じて、技術的な知見を積み重ねるとともに、緊急事態への対応能力および技術力の向上を図っているところである。

その他の質問 ・防災庁に対する市の基本的な考え

福田 茂雄 輝勢会



フッ化物洗口事業

議員 フッ化物洗口導入に向け、他市での状況確認や着手順序、準備プロセスの整理、導入時期判断について伺う。

市 フッ化物洗口を実施している他市町への聞き取り等の結果、時間確保や教職員の業務負担増等、学校だけが担う事業であるのかという課題を踏まえ、関係部局と検討が必要であると考えている。歯科医師会との協議が必要と判断すれば、その段階で行うが、現状の優先順位は、調査・研究を行うことからと考えている。

保健事業の強化と評価指標の見直し

議員 ポピュレーションアプローチ②、ハイリスクアプローチ③を組み合わせた中期的な重点方針と成果目標について伺う。

市 ポピュレーションアプローチについては、健康づくり活動への参加率の底上げを図り、フレイル予防と健康増進を推進していく。ハイリスクアプローチについては、生活習慣改善を図るため医療専門職による個別訪問等、個々の状態に応じた支援を充実させていく。これらアプローチを両輪として事業を展開し生活機能の維持、向上等を図ることで、健康寿命延伸に取り組む。

その他の質問 ・クーリングシェルターと防災備蓄倉庫

②ポピュレーションアプローチ

社会全体を対象に健康づくりや病気予防を進め、全員のリスクを少しずつ下げる方法。

先成 俊士 市民派クラブ



待機児童解消の対策

議員 目先の需要対応と将来の過剰投資リスク回避が重要。送迎保育ステーションの検討状況について伺う。

市 送迎保育ステーションは、定員に余裕がある施設の有効活用と、保護者の送迎負担軽減を図ることができると認識している。しかしながら、現状は、全域の施設に空きがない状況である。将来的な保育ニーズの変容に応じ、送迎保育ステーションの取組も含め、検討を行う。

保活負担軽減の取組

議員 年度当初の保育入所選考は、年1回の一斉募集が主となっている。保活の負担・不安軽減に向け、10月育児休業明け入所予約制度の導入について伺う。

市 育休復職予約入所制度については、今後の受入体制の準備を段階的かつ計画的に進められる等メリットが考えられるが、現状、4月入所の待機児童が発生しており、年度途中の入所予約枠を設けることで今以上に待機児童・保留児童数の増加が懸念されるので、現時点では導入の予定はない。



その他の質問 ・保育士PR特設Webサイト構築の検討等

③ハイリスクアプローチ

病気や健康問題のリスクが高い人に重点的に対策を行い、早期発見や予防をめざす方法。

④シェアサイクル

都市内にある複数のサイクルポート（自転車の貸出・返却ができる場所）を自由に利用できる利便性の高い交通システム。

西村 隆行 公明党



AIによる会話の可視化と自動記録の導入

議員 AI音声認識機能により、窓口での対話を可視化し、集合モニターで共有・観察できる機器を導入することで、カスタマーハラスメントの防止につながると考えるが、いかがか。

市 先進自治体に確認すると、実際の運用は実証実験の段階で、当該システムが実装された場合の実用性や費用等が明らかでない。このことから、他のシステムを含め、先進自治体の運用状況や導入効果等について、情報収集に努めていく。

AI音声認識能力を活用した電話対応

議員 電話での問い合わせにAI音声認識能力を活用し、対応に対して発生する課題を解決できる機器の導入は検討されているか。

市 電話対応におけるAI音声認識機能は、通話内容がタイムリーに可視化されることでトラブルの未然防止や、職員の電話対応の品質向上が期待できると認識していることから、先進自治体における運用状況や導入効果等について、情報収集に努めていく。

その他の質問 ・ カスタマーハラスメント事前対策

中島 美徳 輝勢会



自転車の利用環境の整備

議員 自転車道は、一部できている所もあるが、多くの通勤・通学路では整備が進んでいないと考える。これまでの実績と今後について問う。

市 国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を参考に、自転車通行空間の整備を進めてきたが、限られた道路空間で改良を伴うものも多く、国道・県道・市道を含め整備が十分な状況とは言えない。次期計画では、優先的に取り組む地域課題に応じた自転車ネットワーク路線を再検討し、国の交付金も活用して計画的に自転車通行空間を確保していく。

シェアサイクル④・グリーンスローモビリティ⑤導入の可能性

議員 本年度、社会実験されるシェアサイクル・グリーンスローモビリティの市内での導入の可能性について問う。

市 シェアサイクル・グリーンスローモビリティの導入については、今回の社会実験を経てになるが、地域内の小さな移動などにおいて、公共交通を補完する有効な手段であり、また、お出掛け支援等の福祉的な分野の他、まちなかの賑わい創出、観光地での周遊、地域内の見守りなどさまざまな分野にも活用出来ることから地域との協働を重ね、社会実装の可能性を高めていく。

その他の質問 ・ サイクル&バスライド⑥

⑤グリーンスローモビリティ

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。

野村 友子 みらいと維新の風



特殊詐欺被害防止の啓発と情報提供の強化

議員 本市における特殊詐欺被害の発生状況や、手口の傾向、被害者の年齢層等をどのように分析しているのか、そして、課題認識や今後の対策について問う。

市 令和7年に59件の特殊詐欺被害が発生し、65歳未満の被害が約7割を占め、特に20～40代が増加している。今後は公式LINE等のSNSによる情報発信に加え、詐欺対策に特化したアプリや県警察アプリの活用を促すなど、若年層への啓発を強化していく。

消費者教育と相談体制の安定的な運営

議員 成年年齢が18歳となり、契約トラブルに巻き込まれるリスクが高まっている若者に対し、現状の消費者教育の課題と今後の方向性を問う。

市 小中高での出前講座や大学での講座のほか、漫画を用いた小冊子を配布している。クイズや体験型講座を通じ、若者がトラブルを自分ごととして捉え、自ら考え行動できる「自立した消費者」となるよう、ライフステージに応じた体系的な教育を推進する。



藤井 三恵子 日本共産党草津市議員団



エアコンの改修設置補助

議員 物価高騰の中で、電化製品の「2027年問題」に伴う買い替えや、新たな設置は、大きな負担となっている。他市では、熱中症対策として補助制度を設けている。本市においても、低所得者をはじめとする経済的困難世帯へのエアコン整備に対する補助制度を導入すべきではないか。

市 生活困窮者への支援については、用途を限定しない経済的支援の方が有効であると考えており、「物価高騰対応くらし応援給付金」の支給を行っているため、現時点ではエアコン設置や改修費用にかかる市独自の助成については考えていない。

ごみの分別収集およびリサイクルの強化と持ち去り対策への見解

議員 ①ごみの減量化の現状分析と今年の取組。②他市では、ナフサ関連によるごみ袋不足が問題となっているが、本市の今後の供給見通し。③資源ごみの持ち去りが問題になっているが、対策の強化が必要ではないか。

市 ①家庭ごみ、事業系ごみともに、第3次草津市一般廃棄物処理基本計画に掲げる減量目標値は達成しており、来年度に向けて中間見直しを図りたいと考えている。②焼却ごみ袋の在庫は約1年分あり、来年度分の数量もおおむね確保できる見通しである。③パトロールの強化と合わせ、地域との連携でごみ置き場の施錠などに取り組み、持ち去り対策を進めていく。

⑥サイクル&バスライド

自転車で駅やバス停まで移動し、そこから公共交通機関を利用する移動方法。

服部 利比郎 輝勢会



青少年の現代型犯罪の認識

議員 スマートフォンやSNSを通じた闇バイト等の現代型犯罪リスクを、市は青少年育成上どう認識しているか。

市 スマートフォンが生活に溶け込み、SNS犯罪や闇バイト、特殊詐欺等の手口が巧妙化し、青少年は被害者にも加害者にもなり得る。地域の見守りだけでは把握しにくく、情報リテラシーを高め、自ら危険を見抜き早期に相談できる力と環境づくりが社会全体の課題と認識している。

関係部局の連携による未然防止

議員 関係者が横断的に連携し、青少年育成の観点から犯罪の未然防止をさらに強化すべきではないか。

市 全関係者が定期的集まる場はないが、教育委員会、少年センター、警察、危機管理課、地域団体等が個別に情報共有し連携している。学校でのSNS適正利用、闇バイト等の出前講座、地域啓発、相談窓口への接続、青少年が自ら考える機会を通じ、今後も未然防止を充実させる。



その他の質問

- 地域の育成者担い手
- 学校と行政をつなぐ今後の推進体制

山元 宏和 輝勢会



通学支援バスの運用

議員 2月定例会でバスの運用について調査研究をしていくと答弁があったが、その内容について伺う。

市 バス以外にデマンドタクシーや公共ライドシェア、ファミリーサポート事業など広く検討していく。デマンドタクシーの事例の情報収集から始めている。それ以外の手段についても調査を進めていく。

小学校における熱中症対策

議員 校舎内の冷水機や冷蔵庫の設置状況はどうか。また、ネッククーラーなどの冷却グッズは市が準備すべきであると考えているが、いかがか。

市 設置については完了した。ネッククーラーなどの冷却グッズは各家庭で準備されたい。運動場などへのミストシャワーは、学校の予算内で設置している。



その他の質問

- クーリングシェルターの設置
- 各小学校での市立プールの利用
- 志津南学区に災害時の避難に利用する新たな拠点整備

田中 香治 草政会



民生委員活動推進費の水準回復

議員 令和3年度に民生委員一人当たりの活動推進費は、38,950円から36,550円へ削減。現在、削減状態は継続している。地域共生社会の推進と財政措置の整合性について伺う。

市 活動推進費は、草津市民生委員児童委員協議会と協議の上、令和3年度に減額したが、実情に応じて増額もしている。地域共生社会の推進において、民生委員・児童委員は重要な役割を担っていただいている。引き続き、協議会のご意見を伺いながら、活動のさらなる充実に取り組んでいく。

災害時「畳の提供等に関する協定」を締結する意義

議員 畳は床面への断熱、クッション性という点で、高齢者や乳幼児連れの被災者には特に有用と考える。市内公共施設における畳の枚数を把握・管理することについて伺う。

市 各小・中学校や体育館を広域避難所として開設する場合、畳敷の和室を要配慮者スペースとして活用するなどを想定している。ロクハ荘やなごみの郷を福祉避難所として確保し、2次避難先として要配慮者を移送することも想定され、各公共施設における和室の畳数から要配慮者の収容人数を把握する目的で、各施設の状況把握に努める。

田中 詩織 みらいと維新の風



児童育成クラブの保護者の声を施策へ

議員 公設クラブだけでなく民設クラブにもアンケートを拡大し、加えて利用者ニーズを把握して今後の施策、運営に生かすべきではないか。

市 幅広い対象へのニーズ把握が必要であることから、辞退者や保留者の声も大切にしつつ、今後は全クラブでアンケートを実施する。QRコード等のデジタルの活用も検討し、事業者や市の負担を抑えながら、利用者満足度やニーズの把握に努めていく。

児童育成クラブの学校施設の活用

議員 より良い放課後の居場所づくりに向け、図書室や特別教室などを含む学校施設の活用を進めることが重要と考えるが、こども若者部と教育委員会はどのように連携して取り組む考えか。

市 山田小・常盤小に加え、来年度は老上小学校の仮設校舎も定員拡大のため活用予定。こども若者部と教育委員会、学校現場や運営事業者が協議を重ね、より良い放課後の居場所づくりの実現を図っていく。

その他の質問

- 児童育成クラブの利用実態の分析
- こどもまんなかの居場所づくり



熱中症対応の見える化

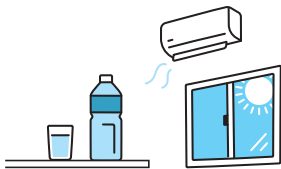
議員 熱中症警戒アラート発表時の施設利用や、イベント開催の判断基準を、市民に分かりやすく示す考えについて問う。

市 熱中症警戒アラート発表時には、ホームページやLINE等で情報発信を行っている。屋外スポーツ施設の利用料金還付については、他市事例を参考に検討していくほか、ロクハ公園プールについても、他自治体の事例を踏まえながら、安全対策の充実を図る。

給水環境の充実

議員 熱中症予防の観点から、クーリングシェルトアの給水環境や給水スポットの充実を図る考えについて問う。

市 クーリングシェルトアは、熱中症予防に重要な役割を担う施設である。庁舎への給水スポット設置の可能性を研究するとともに、民間事業者との連携による給水環境の充実についても研究し、他の公共施設のニーズ等を踏まえ、拡充の可否を見極めていく。



小・中学校の図書館の充実

議員 学校図書館の①機能と役割②司書の直接雇用③交付税試算と予算との差④サポーターの配置状況を問う。

市 ①本に親しみ豊かな人生を育む「読書センター」、学習を支え授業理解を深める「学習センター」、情報収集・選択・活用能力を養う「情報センター」として重要な役割がある。②今年度から週2日に増やし充実している。③差はあるが、実情を踏まえ適切に予算措置している。④19校に配置し、報償は1時間400円、年間140時間である。

農業振興や農業公園

議員 市域の農業振興は重要であり、①実態②農業振興計画の見直しの課題③「農業公園」の整備の検討を求め、問う。

市 ①農地面積は5年間で110ha減（9%減）、農業者数は、221戸減（22%減）、65歳以上は72.5%と高い。②担い手の高齢化や後継者不足、農地の減少、資材高騰や気候変動など課題は多い。③都市近郊の強みを生かした産地づくり、農地保全に取り組む。

その他の質問

・イラン戦争による経済や市民生活への影響など



（仮称）草津市危機管理センター整備と防災強化

議員 センターの機能を問う。また、災害時支援機能別消防団員と防災士の役割を問う。

市 災害対策本部の迅速な開設のため、常設の本部室や通信設備等を配置し、機能の充実・強化を図る。機能別消防団員は避難所資機材取扱訓練等の実働要員として、また個別避難計画等の地域講座の講師として出動し、地域の自主防災力の向上を支援している。防災士は、地区防災計画の策定会議への参画や、避難支援の担い手など地域防災の中心的な役割を期待する。

安全安心な道路整備

議員 国道1号南田山交差点の市道野路矢橋線への右折レーンの設置と、JR南草津駅周辺のインターロッキング歩道の凸凹危険箇所の改善の現状を問う。

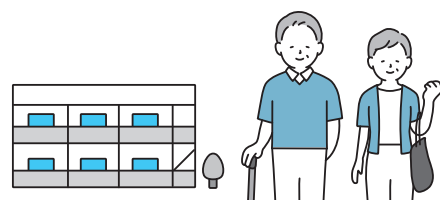
市 今年度、右折レーン設置の技術的課題を抽出する概略検討業務を発注し、費用対効果や財源確保を含め実現の可能性を検証する。駅周辺の歩道は、経年劣化や車両乗入により不具合が生じている箇所は、今年度に改修工事を予定している。車両乗入部分は、景観色のアスファルト舗装を新たに採用し、歩行空間の確保に取り組む。



市営住宅施策

議員 超高齢社会と人口減少、財政負担の軽減の課題と、今後の市営住宅の在り方について問う。

市 現在進めている長寿命化計画の見直しにおいて、人口減少や高齢化の進行の中、住宅需要の変化を慎重に見極めた上で、建て替えや集約化による効率的な住宅ストックの形成を検討する。同時に、市営住宅のみで全ての需要に対応するのではなく、民間賃貸住宅や住宅セーフティネット制度と連携した重層的な住宅セーフティネットを構築していくことが重要であると考えている。また、各事業の実施においては、国の社会資本整備総合交付金をはじめとする補助制度を活用し、市の財政負担の軽減を図りながら、公営住宅の集約化や建て替えに取り組む。合わせて、改良住宅の譲渡を推進することで、計画的に市営住宅の管理・運営に取り組んでいく。



伊吹 達郎 シン・プロジェクト



自然体験活動の推進プラン策定

議員 こどもたちの豊かな感性や自主性、協調性を育むだけでなく、生きる力や非認知能力の向上にも大きな効果が期待される「自然体験活動の推進プラン」の策定について伺う。

市 市独自の自然体験推進プランの策定はしないが、第3次草津市環境基本計画の中で、自然に触れ合うための活動を推進しており、市民、地域、事業者と連携して自然環境に親しむ場と機会の充実を図っていく。

こども防災リーダー育成制度の創設

議員 こども防災リーダー育成制度と、いきもの自然学校×防災など、自然体験活動と防災教育を組み合わせた「くさつ子どもアカデミー」構想の創設について伺う。

市 将来の地域防災を担う世代への防災教育は、重要になるものと考えます。引き続き、各学区や学校と連携して防災イベント等を通じて地域の主体的な活動を支援していく。複合的な取組についても、体験プログラムや担い手育成の面から寄り添った支援をすることで、こどもたちが総合的な学習や体験ができる地域社会づくりをめざす。

その他の質問

- ・新しい防災気象情報の運用開始に伴う避難情報発令の仕組み

面垣 和美 公明党



高次脳機能障害者支援の推進

議員 「見えない障害」と言われる高次脳機能障害者支援法の施行にあたり、相談につながるための周知啓発や市の役割について伺う。

市 周知啓発は大変重要との認識であり、関係機関等の研修の実施やホームページ等、さまざまな媒体での情報発信に努める。潜在ニーズの対応にチェックリストでの把握を検討。市の役割は相談窓口で寄り添い、必要な支援につなげ、相談員のスキルアップや専門性向上の取組も進めていきたい。

教育と福祉との情報連携での支援

議員 現状の課題として、保護者が情報の運び手として負担が大きいことや、教育と福祉の情報連携の改善を求める。

市 保護者が手続き等で同じことを何度も伝えたり、手書きでの申請の負担を認識している。支援情報を一元化した相談支援ファイルは十分活用されていない現状があり、今後は申請書類の電子化や先進事例を参考に教育と福祉との情報共有を進め、切れ目のない支援につなげていきたい。

その他の質問

- ・支援情報の防災への活用
- ・こどもデータ連携

草津市政治倫理審査会 審査等結果報告の概要



草津市議会HP▲
概要を掲載

本市議会の西村隆行議員が、A議員と会話中の本市職員に対し「その議員と話していたらバイキンがうつる。」と発言したとされ、事実であれば政治倫理条例第3条第1項第1号の政治倫理規準に違反する疑いがあるとして、令和7年10月23日に市民から審査請求がありました。

審査会は、「バイキンがうつる」とまでは発言していなかったものの、第三者が居合わせる場での不適切な発言であり、政治倫理に反すると受け止められかねない発言であったと判断しました。一方で、両者の話し合いが行われ、A議員や居合わせた職員に不快感が残っていないことなどから、政治倫理規準に直ちに違反するとは言い難く、個人に対する措置を講ずるまでには至らない事案であるとなりました。

付帯意見として、人権・ハラスメント研修の継続、意識向上、解決体制づくり、政治倫理条例へのハラスメント規定の明文化が望ましいとされました。なお、議長から西村議員に対し、自らの言動を律するよう注意がされました。

中嶋 昭雄 輝勢会



水生植物公園みずの森のさらなる活用を

議員 会場として水生植物公園みずの森を活用する意義と、再整備の考え方等を問う。

市 緑化フェア会場にみずの森を活用することは極めて意義深いと考える。再整備は基本構想において、県と共に全体像や各会場の機能配置に関する基本的な考え方を精査し、整理していく。みずの森を会場とすることが正式決定した際には、2030年に向け施設整備を実施する。

道路整備の推進

議員 平野南笠線（区間1）と大江霊山寺線（区間9）の進捗状況および南湖横断軸の動向を問う。

市 平野南笠線（区間1）は路線全体の整合を図る必要があり、令和6年度から県と連携し、全線一括での概略検討を実施している。大江霊山寺線（区間9）は令和6年度に詳細設計や事業説明会、一部区間の用地測量を、令和7年度は保安林指定の解除手続と補償調査を行い、今年度から用地取得に着手する。県の南湖横断軸は令和6年度から7年度にかけて県道路公社と連携し、交通量予測や整備効果などを検証されていると聞いている。



知ってほしい、委員会の活動



「所管事務の調査」ってなあに？

「所管事務の調査」は、私たちの暮らしをより良くするため、議会が日々行っている大切な調査・研究活動のことです。

例えば、「地域交通をさらに便利にできないか」「防災対策は十分か」「子育て支援に課題はないか」といった、市民の皆さんの生活に直結する「福祉」や「教育」などのテーマについて、担当分野ごとに分かれた議員で構成する委員会が継続的に調査しています。

この調査で特に重視しているのは、「市民生活にどうつながるか」という点です。草津市で実際に生かせるのか、市民の皆さんの課題解決につながるのかを常に意識しながら、調査・研究を進めています。

具体的には、調査事項を決定した上で、市の担当部局から調査事項の現状や課題について説明を受けたり、必要に応じて現地を視察したり、先進的な取組をしている他自治体を調査したりしながら、理解を深めていきます。また、委員会では議員同士で活発な意見交換を行い、多様な視点から議論を展開しています。

議会というと、本会議での質疑や討論が注目されがちですが、実はこうした日々の活動が、より良いまちづくりを進めるための基礎となっています。



「所管事務の調査」では、こんなことを調査・研究しています！



産業建設常任委員会

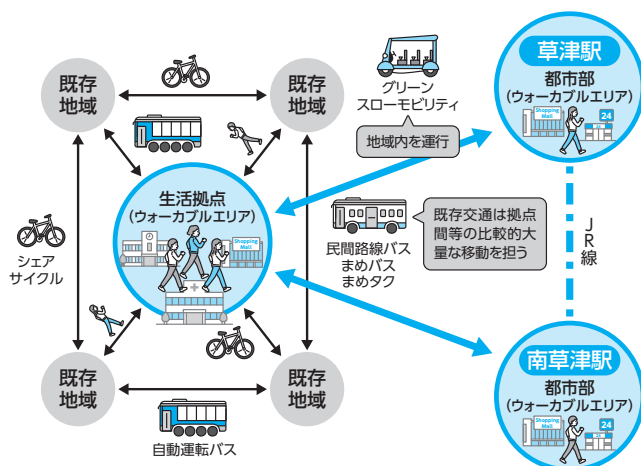
環境経済部、都市計画部、建設部、上下水道部、農業委員会事務局の取り扱う事項について調査・研究を行います。



調査事項 「歩きたくなる」ウォーカブルなまちづくり

本調査は、市民が「歩きたくなるまち」の実現に向け、都市部と周辺部をより良くつなげるための新交通システム等の交通手段を検討することで、市全体の産業振興と利便性・満足度向上につながる今後のまちづくり施策に資することを目的としています。

現在、公共交通を取り巻く環境には「定時性の確保」や「移動範囲の拡充」といった課題が存在しています。そこで、グリーンスローモビリティやシェアサイクルなどの新交通システムの活用により、これらの課題を解消し、利便性を高めることができないか検討を重ねていきます。また、既存の交通システムと新交通システムをうまく組み合わせることで、誰もが移動しやすい交通環境づくりに向けて、調査・研究を進めていきます。





知ってほしい、委員会の活動

「所管事務の調査」では、こんなことを調査・研究しています！



文教厚生常任委員会

健康福祉部、こども若者部、教育委員会事務局の取り扱う事項について調査・研究を行います。



調査事項 ケアラー条例の制定について

介護や支援を必要とする人、その支援を行う人の双方が尊厳を持ち、共生できる社会の実現をめざす必要があると考えることから調査・研究を進めています。今号では、5月と7月に開催したケアラーに関する研修会の内容をお伝えします。

令和8年5月25日

研修会「ケアラー支援に関する政策動向とその特徴」

目的

- 1 ケアラー支援の重要性への認識を深めること
- 2 ケアラーが抱える多様な課題やニーズを把握すること

講師に、津止正敏さん（立命館大学名誉教授、一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事）を迎え、ケアラーの現状を理解し、届かない支援の空白を埋められるよう、包括的な支援の仕組みづくりについて学びました。



令和8年7月1日

研修会「ケアラーへの支援に関する研修会」

目的

- 1 精神保健の家族まるごと支援への理解を深めること
- 2 ケアラーが抱える課題や困りごと、支援ニーズを把握すること

講師に、佐藤純さん（Cafsきょうと代表）を迎え、ケアラーの現状について、さらに理解を深めることで家族全体を支える「家族まるごと支援」の重要性を認識し、包括的な支援の仕組みづくりについて学びました。



研修会の様子

草津市議会ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



スマートフォン
専用アプリ



マチイロ



SideBooks
(ちいさ本棚)

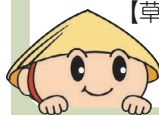


ご意見・ご質問をお聞かせください

本号に記載している内容等について、市民の皆さまからのご意見・ご質問をお待ちしております。

いただいたご意見をもとに引き続き、より良い議会だよりの作成に努めていきます。

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号
TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485
Eメール gikai@city.kusatsu.lg.jp



会派選出

広報広聴委員会

- 輝 勢 会 福田 茂雄
- 草 政 会 田中 香治
- みらいと維新の風 八木 良人
- 市民派クラブ 土肥 浩資
- 公 明 党 西村 隆行
- 日本共産党草津市会議員団 ... 藤井三恵子

編集後記

今回の議会だよりは第200号の節目を迎える記念号です。第100号の記念紙が発行されたのは、今からおよそ25年前、2001年のことでした。

草津市議会は、市民の皆様と手を携え、先輩議員の方々が思い描かれた未来図を胸に、地域の発展の道を力強く歩んでまいりました。

「温故知新」の言葉にあるように、先人の思いを大切にしながら、変わりゆく時代の流れに柔軟に応じていきたいと思ひます。

草津市議会広報広聴委員一同